



小坪小だより

11月号

横浜市立小坪小学校

校長 高田 桂太郎

横浜市港南区港南台4-11-1 電話 832-0617

夢中になる才能

校長 高田 桂太郎

朝はコートが必要になるほど秋は深まり、暖かそうな上着を着て登校する子どもが増えてきました。朝、門を通る時に「これ見て。」と言って通学路で拾ってきた赤や黄色の落ち葉を見せてくれる子がいます。「きれいだね。」と声をかけると、にっこりと笑って、元気に昇降口に向かっていきました。寒さで肩をすぼめている私に美しい秋の贈り物で心を温めてくれる子どもたちに感謝しています。季節は冬に向かっていきますが、子どもたちには、心も体も元気に学校生活を送ってほしいと願っています。

日頃より、保護者や地域の皆様には、子どもたちのために、毎日の健康観察や登下校の見守りなどをしていただき、本当に感謝しております。10月29日(土)は、創立40周年記念運動会を行うことが出来ました。感染症対策として入場人数を制限したり、プログラムを例年とは変更したりと様々な対応がありましたが、PTAの皆様をはじめ、保護者の皆様の協力もあり無事に終わることが出来ました。地域の皆様には、練習時や当日の大きな音や子どもたちの見守りなど様々な面でご理解とご協力いただき本当にありがとうございました。引き続き、学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年の運動会は、3年ぶりに全校児童が揃って行うことが出来ました。子どもたちは、それぞれ自分の力を出し切って頑張っていました。1, 2年生のダンスはとても可愛く、3, 4年生のフラフープを使った演技は隊形の変化が見事でした。そして5, 6年のソーランとフラッグを使った演技は迫力があり壮観でした。綱引きは学年ごとにルールが工夫され、子どもたちは作戦をたてて勝負に臨み、気迫のこもった試合が行われました。応援団やリレーの選手たちは、自分の役割を果たすため、必死に頑張っていました。特別演技のブルーロビンスの演奏は、県大会よりもさらにグレードアップしていて、堂々としたものでした。

どの場面も、共通しているのは子どもたちが夢中になって一生懸命に取り組んでいる姿です。普段、私は何かを行う時に「失敗したらどうしよう。」「なにか言われたらいやだな。」ということが頭をよぎってしまうことがあります。しかし、この日の子どもたちは、今まで頑張って練習してきたことを十分に発揮し、今できることを夢中で行っていました。その姿は清々しく、私にたくさんの希望とパワーを与えてくれました。

運動会が終わり帰っていく子どもたちを見送っていた時に、大きな声で泣いている子がいました。けがでもしたのかと思い「大丈夫？けがは無い？」と聞いたら、一緒にいた保護者の方が、笑いながら「負けたのが悔しかったみたいです。」と教えてくれました。私は、こんな小さな子が泣いて悔しがるほど頑張ったのかと思うと、胸が熱くなってきました。

「一生懸命に頑張ったんだね。いいぞ！」と声をかけ「大丈夫、次また頑張ればいい。」と心の中でエールを送りました。

子どもたちには、何事も夢中になって頑張れる才能があると思います。その姿から、私はたくさんのことを学ぶことが出来ました。頑張った子どもたちに、心から感謝しています。